

患者さんの尊厳を守るための 身体的拘束に係る基本方針

当院的基本方針

当院では、患者さんの尊厳を守り、
安全で安心できる療養環境を提供するため、
「原則として身体的拘束を行わない」ことを基本方針としています。

身体的拘束最小化のための主な取組み



1 身体的拘束最小化チームの設置

- 医師・看護師・リハビリ・薬剤師・介護職員等による多職種チーム
- 月1回の会議で実施状況を確認し、改善策を検討



2 定期研修の実施（年2回以上）

- 身体拘束の代替手段
- 認知症ケア・尊厳保持
- 法令・倫理に関する内容



3 病棟ラウンドの実施

- 拘束中の患者がいる場合、解除可能性を多職種で検討
- 環境調整・見守り強化・用具の工夫など代替策を提案



4 拘束を行わないケアの推進

- 転倒リスクの個別評価
- センサー類の適正使用
- ベッド周囲環境の調整
- 家族との連携強化



5 用具の一元管理と適正使用の徹底

- 拘束具の使用状況を毎日確認
- 不要な使用の早期発見と解除

今後の目標



身体的拘束の
さらなる減少



全職員の
研修受講率100%



代替策の
さらなる充実



家族との
情報共有の強化

患者さん一人ひとりに寄り添い、その人らしい生活を支えるケアを大切にしていきます。
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。